

平成29年度施政方針



3月2日(木)から10日(金)まで、平成29年大衡村議会第1回定例会が開会され、初日に萩原村長が平成29年度村政運営に係る施政方針を述べましたので、主な施策の概要についてお知らせします。



みんなで楽しく協力しながら活躍できるまちづくり

農林業（創意と工夫による農林業の復活）について

効率的に作業ができる農地、高齢農業者等農業者の安全の確保、人材の確保等をポイントに、農業を考える会や議会等の意見を参考にしながら、「小規模基盤整備事業補助金」「畑地化支援事業補助金」及び「農業用施設等維持管理支援事業補助金」の見直しを行い、新たに「農業環境整備支援事業補助金」として農業環境の向上を図ってまいります。農作物被害対策につきましては、

昨年度に異猟等の免許取得費に係る補助事業を創設し、免許所有者の増員を図り、「鳥獣被害対策実施隊」を編成しました。隊員総数を30名としており、今年度も免許取得に係る助成事業を継続してまいります。農業委員会等に関する法律改正により、農業委員については公選制が廃止され、市町村長が議会の同意を得て任命する制度に変更となり、農地利用の最適化を図るため、農業委員会の委嘱による農地利用最適化推進委員が設置されますので、今年7月の新制度による農業委員会体制へスムーズに移行できるよう、募集手続き等を進めてまいります。

工業（活気ある工業）について
松原地区の大衡工業団地は、「全農物流株式会社」の立地により、大衡工業団地A地区が完了となり、宮城県土地開発公社において色麻町境にあります大衡工業団地B地区2区画の新たな工業団地が整備される予定であります。また、第二仙台北部中核工業団地

かり・障がい児保育事業・地域子育て支援センター等に対する補助、並びに給食費、教材費等へ、保護者の利用の助成を行い、保護者の利用負担軽減の措置を講じ、子どもと子育てを支援してまいります。障がい者福祉につきましては、多機能型の障がい福祉サービス事業所（仮称）わ・は・わ大衡」の施設整備計画が国の補助事業採択を受け、間もなく着工する運びとなっております。本村にとつて念願の障がい者福祉施設であり、事業者やご父兄の方々と連携を図りながら、事業運営に協力してまいります。

により、相互のお祭りへの参加出席など交流を深めながら、観光を含めた民間レベルでの交流が活発になるようPRと支援にも努めてまいります。

みんなで協力し、地域で支え合う福祉のまちづくり

福祉（共に支え合う福祉）について
万葉すくすく子育てサポート事業につきましては、出生から18歳までの子どもの医療費完全無料化をさらに堅持し、安心して子育てができる環境づくりの充実に引き続き取り組んでまいります。また、「万葉のびのび子育て支援事業」に、出産時と小・中学校入学時に祝金を支給する制度を加え、子育て世代の保護者の経済的負担を軽減してまいります。高齢者福祉につきましては、高齢者等の社会参加の促進と元気で生きがいのある生活を送ることができるよう、移動手段の確保が困難な高齢者や障がい者等を対象に、タクシー利用料金の一部を助成する「高齢者等タクシー利用助成事業」を新たに実施いたします。介護保険事業につきましては、地域の実情に応じ、住民等の多様な主体が参画しサービスを充実させることにより効果的かつ効率的な支援等を可能とする「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始いたします。児童福祉につきましては、おおひら万葉子ども園の延長保育・一時預

みんなで創る新たな万葉の里・おおひら

国民健康保険事業につきましては、は、国保財政基盤の安定化を最優先課題とし、さらなる医療費適正化を図るため、特定健康診査及び特定保健指導により、生活習慣病の予防や



▲多機能型福祉サービス事業所建設予定地

早期発見のため受診体制を充実させ、未受診者への積極的な勧奨を行い受診率の向上に努めるとともに、被保険者の健全な生活習慣の確立に向け啓蒙普及活動を行ってまいります。また、生活習慣病の改善・予防効果や将来的な運動器症候群の予防認知症予防に有効である運動習慣の定着を重点課題とし、地域で健康に役立つ情報を広める「運動普及サポーター」の資質向上に力を入れ、運動量増加につながる活動を啓発してまいります。

みんなで学び、みんなで育む、生涯学べるまちづくり

生涯学習（生涯活かせる学習活動）について
小学生の通学合宿などを含む青少年教育事業や、成人教育事業、文化芸術活動など幅広い学習機会の提供を継続するとともに、地域全体で子どもを育てる体制の整備を図るため、家庭・学校・PTA・子ども会育成会など関係機関・諸団体が連携して、地域一丸となった教育活動を実践してまいります。

学校教育（豊かな人間形成のための教育）について

小学校につきましては、基本的な学習内容の定着による学力の向上を図るとともに、子ども自身が、自分で考え、判断し、行動するといった自ら学ぶ力、いわゆる「生きる力」

商業（地域特性を活かした商業）について
くろかわ商工会大衡支部事業として新たに実施する割増商品券発行事業につきましては、2割増分の経費及び事業実施に係る経費の一部を支援し、村内での消費拡大による経済活動の活性化を図ってまいります。

観光（地域資源を活用した観光）について



▲祭りを通して金ヶ崎町と交流

「万葉クリエートパーク」や「おおひら万葉パークゴルフ場」、「昭和万葉の森」及び「達居森遊歩道と牛野ダム湖畔自然公園」などの観光資源に加え、「万葉まつり」や「ふるさと祭り」を県内一円で実施される観光キャンペーンとあわせて、県内外にPRし観光誘客に努めてまいります。

また、昨年12月に岩手県金ヶ崎町と友好交流都市協定を締結したこと

を身に付けさせ、心も体も健全な子どもへの育成を目指して、創意・工夫を重ねながら、きめ細かな指導により、学習意欲の啓発と学力向上に努めてまいります。

中学校につきましては、健康で心豊かな生徒を育みながら、生徒の思考課程に沿った学習指導の改善を行い、重要課題である学力向上を目指して行くと共に、個性を生かす教育の充実、そして人間的な触れ合いを大切に、思考・創造・表現する力を養う総合的学習に努め、問題の解決や自ら学ぶ意欲と「生きる力」を育むことを目指し、活力と創意に満ちた学校経営を押し進めてまいります。

また、ICT教育の充実を図るため、タブレット等の教育機器の整備を今後も継続して年次的に整備拡充を図ってまいります。



▲小、中学校の新1年生に祝金を支給